

マーケットの動き（2021年10月25日～10月29日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は低下しました（債券価格は上昇）。FRB（米国連邦準備理事会）が金融政策正常化を早めるとの見方から、短期金利に上昇圧力がかかる一方、長期金利には低下圧力となり長短金利差が縮小しました。ECB（欧州中央銀行）理事会は全体を通して中立的であるも、インフレが長期化するとの認識を示したことで、ドイツ国債市場は週末にかけて上昇に転じ、前週末とほぼ同水準で週を終えました。

投資環境見通し（2021年10月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）とも緩やかに上昇

米国：景気については消費者心理の悪化がみられる一方、新型コロナウイルス感染拡大がピークアウトしていることに加えて、旺盛な求人環境から雇用情勢は引き続き改善するとみられます。長期金利については、経済活動正常化の進展がより一層明らかになるとともに緩やかに上昇基調を辿ると予想しています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）の緩和的な金融政策が続く一方で、域内の堅調な経済活動やインフレ期待の高まりなどを背景に長期金利は緩やかに上昇すると予想しています。

	10月29日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	1.55	▲0.10	0.01	▲0.09	0.72
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	517.49	0.38%	1.68%	2.90%	6.04%

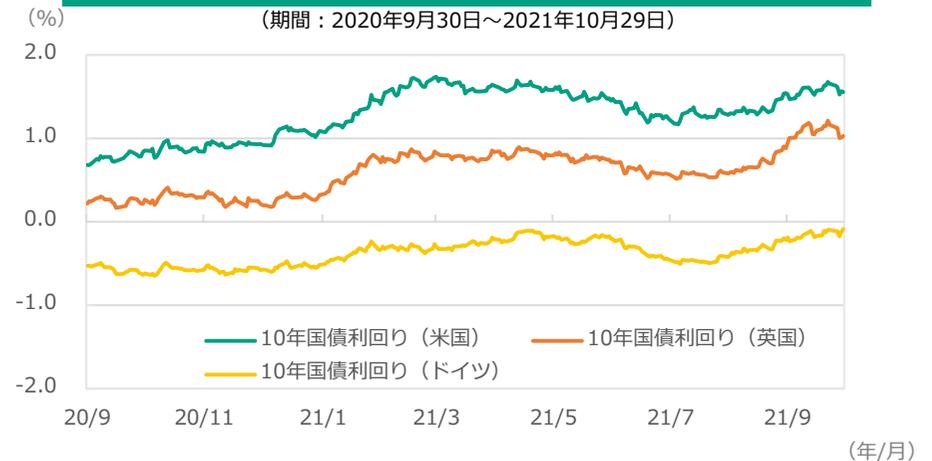
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202110_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2020年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成